

(発達障害全般・共通)

※管理職もしくは特別支援教育コーディネーターの方が、電子アンケートでご回答ください。

※各設問の回答について、発達障害もしくはその可能性があると思われる児童生徒の明確な基準を設けることが困難なため、管理職もしくは特別支援教育コーディネーターの方のご判断で構いません。

【A 貴校及び調査票ご記入者についてお聞きします】

問1 学校種別についてお伺いします。

学校種別	1) 小学校 2) 中学校
一つだけ 選び、○を つけて下さい	3) 特別支援学校(小学部) 4) 特別支援学校(中学部) 5) 特別支援学校(高等部) 6) その他()

問2 本調査票を記入されている方ご自身について伺います。当てはまるところに○をつけて下さい。

職種	1)管理職 2)特別支援教育コーディネーター 3) その他()
発達障害児者の支援 に関わった経験年数	1) 6ヶ月未満 2) 1年未満 3) 1年以上3年未満 4) 3年以上5年未満 5) 5年以上10年未満 6) 10年以上 7) 関わった経験がない

【B 発達障害児者への支援について伺います】

問3 あなたの学校には、発達障害もしくはその可能性がある児童生徒が在籍していますか。

- 1) 発達障害の診断を受けた児童生徒が在籍している
- 2) 診断は受けていないが、発達障害の可能性のある児童生徒が在籍している
- 3) 発達障害もしくはその可能性がある児童生徒は在籍していない

1)、2)と答えた方 … 次頁へ

3)と答えた方 … ※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

【C 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います（その① 特性の理解）】

問4 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒について「感じ方（感覚）」や「周りのことの理解の仕方」「自分の気持ちの表し方」など（以下「障害特性」と記載）にどのような特性があるか、専門職の人（医師、発達障害に関する専門機関の職員等）などが調べた結果を把握していますか。

- 1) 把握している 2) 把握していない

↓

（副問） 1) 把握していると答えた方におたずねします。どのように障害特性を把握していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 行動観察（ ）
 ② ご本人及び関係者への聞き取り（ ）
 ③ 関係機関からの情報の引継ぎ（ ）
 ④ その他（ ）

問5 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒について心理学的な検査を行い、支援に活用していますか。

- 1) 行っている 2) 直接行っていないが、検査結果を活用している 3) 活用していない

↓ （※1、2と答えた方とも以下に回答）

（副問） 1) どのような検査を活用していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 日常生活における困難と要支援度の評価

MSPA（ ）

- ② 知能検査・発達検査

WISC（学齢期）（ ）、WAIS（成人期）（ ）、田中ビネー検査（ ）、

K式発達検査（ ）、K-ABC（ ）、DN-CAS（ ）、遠城寺式乳幼児発達検査（ ）、

ポータージプログラム（ ）

- ③ 適応行動（生活能力）のアセスメント

Vineland 適応行動尺度II（ ）、S-M社会生活能力検査（ ）、

ASA 旭出式社会適応スキル検査（ ）

- ④ 情緒と行動のアセスメント

SDQ（ ）、CBCL（ ）

異常行動チェックリスト日本語版 ABC-J ()、日本語版感覚プロフィール ()

⑤ 自閉症スペクトラムのアセスメント

M-CHAT ()、PARS ()、CARS ()、ADOS ()、AQ テスト ()
PEP - 3 ()、TTAP ()、ADI-R ()

⑥ その他のアセスメント

ADHD-RS ()、CAARS ()、LDI-R ()、全国標準学力検査 CRT ()、
音読検査 ()、言語学習能力検査 ITPA ()、PVT - R 絵画語彙検査 ()、
ミラー幼児発達スクリーニング検査 JMAP ()、日本版感覚統合検査 JPAN ()

【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その② 日常生活について)】

問6 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒が日常生活を送る上で、特別に配慮が必要な障害特性について、具体的に把握していますか。

1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。どのように障害特性を把握していますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ① 行動観察 ()
- ② ご本人及び関係者への聞き取り ()
- ③ 関係機関からの情報の引継ぎ ()
- ④ その他 ()

問7 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒が日常生活を送る上で、特別に配慮が必要な障害特性に対して、何らかの「手立て」を行っていますか。

1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

副問-1 具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- ① これから起きることの見通しが持てるよう、スケジュールやカレンダーで予定を示している。()
- ② スケジュールに変更が生じるときには、事前に個別に確認している。()

- ③ 意思疎通に、コミュニケーションカードや具体物の提示、筆談、通信機器などを用いている。()
- ④ 着替え、食事、余暇、休息などの場所を区切り、何をするとどこか見てわかりやすくしている。()
- ⑤ 日常生活動作や作業の手順表を作り、使うものを順番に並べるなど工夫している。()
- ⑥ 作業を細かく区切り、都度休憩を入れる、目標の達成状況を確認するなど工夫している。()
- ⑦ 不注意によるミスを防ぐため、手帳やメモに記録を取り、都度見返すように支援している。()
- ⑧ 物音や光など苦手な刺激を避けるため、イヤーマフや特別なメガネなどを用いる工夫をしている。()
- ⑨ 疲れたり調子が悪い時などに、一人で過ごすことが出来る場所（カームダウンエリア）を用意している。()
- ⑩ できないことや苦手なことは人に頼む、サービスを利用するなど得意なことに集中するようにしている。()
- ⑪ 周り（社会）とうまく関わるため、共同作業の進め方や周りの人への伝え方などの練習を行っている。()
- ⑫ 辛いときに休憩し、手助けを求められるように、自分の障害特性を周りの人に伝えるよう支援している。()
- ⑬ その他()

副問－2 日常生活上の「手立て」を講じるにあたり、ツール（道具や用紙など）を使っていますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

主にどのようなツールを使っていますか。当てはまるものをすべて選んで○をつけてください。

- 1) コミュニケーションカード（イラスト・写真・文字を含む）
- 2) 筆談（イラスト・写真・文字の使用を含む）のための用紙
- 3) スケジュールボード、カレンダー、スケジュール手帳
- 4) スマートフォンやタブレット端末
- 5) パソコン

- 6) VOCA (音声を出力するコミュニケーション機器)
- 7) タイムタイマー (時間の経過を視覚的に伝える機器)
- 8) イヤーマフ (周囲の音を遮断するためのヘッドホン)
- 9) サングラス (光の刺激を抑えるための眼鏡)
- 10) その他 ()

副問-3 日常生活上の「手立て」を講じるうえで、難しいと感じることがありますか。

- 1) はい
- 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

どのようなことに難しさを感じますか。3つまで選んで○をつけてください。

- 1) 正しいやり方がわからない
- 2) やり方の相談に応じ、指導してくれる人がいない
- 3) 毎日のことなのでついおっくうになる
- 4) 道具やコミュニケーションカードなどを準備する時間がない
- 5) 行動に変化がなく、効果があるかどうかわからない
- 6) 他の人と違った対応を行うことに抵抗がある
- 7) 言葉で話しても伝わらないことがあり、気が進まない
- 8) その他 ()

【D 日常生活を支える「基本の手立て」について伺います (その③ 支援体制について)】

問8 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒が日常生活を送るうえで必要な「手立て」について、医療・福祉・教育・雇用(労働)など関係機関と連携して取り組んだことがありますか。

- 1) ある
- 2) ない

↓

(副問) 2) ないと答えた方におたずねします。

今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んで○をつけてください。

- 1) 今後、関係機関と連携して取り組みを行う予定である
- 2) 特に予定はない
- 3) 取り組みたいが、実際にどうすればよいか分からない

↓

(副問) 1) 作成されていると答えた方におたずねします。

① 作成された計画について、定期的に取り組みの結果を振り返り、その成果や課題を踏まえて内容の見直しがなされていますか。(PDCA サイクル)

1) はい 2) いいえ

② ご本人(発達障害もしくはその可能性がある児童生徒)やそのご家族は、ご自身の支援計画の作成やその見直し (PDCA サイクル) 作業に参加して、意見や要望を直接伝えてありますか。

1) はい 2) いいえ

問 12 あなたの学校では、発達障害もしくはその可能性のある児童生徒の支援に専門的な手法を取り入れていますか。

1) はい 2) いいえ 3) わからない

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

どのような手法を取り入れていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

1) TEACCH® (時間や空間、手順を区切り、理解しやすく整える「構造化」)

2) 応用行動分析学 (ABA) (行動の背景を観察し、環境や関わり方を工夫し「好ましい行動」を増やす)

3) PECS®(絵カード交換式コミュニケーションシステム)

4) 感覚統合療法(遊びを通して刺激を与え、感覚の偏りを整える)

5) S S T (相手の気持ちを考えた行動など、社会生活や人間関係に必要な行動を学ぶこと)

6) 動作法(体の緊張を緩めることで、体の動きに気づいたり、動作をコントロールする力を育てること)

7) その他 ()

8) よくわからない

(副問) 2) いいえと答えた方におたずねします。

今後の予定について、当てはまるものをひとつ選んで○をつけてください。

1) 今後、専門的な手法を取り入れる予定である

2) 特に予定はない

3) 取り入れたいが、実際にどうすればよいか分からない

【E 強度行動障害のある児童生徒への支援について伺います（その① 日頃の対応について）】

問13 あなたの学校では、強度行動障害のある児童生徒への支援を行っていますか。

1 行っている (問14へ) 2 行っていない (2へ)

2) 支援を行っていないと答えた方へ、今後の予定についておたずねします。

今後、支援を行う予定はありますか

1 ある 2 ない 3 行いたい、実際にどうしたらよいか分からない

※アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

問14 あなたの学校では、強度行動障害のある人を支援するにあたり、障害特性があるために起きる行動で困っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1) 大声や奇声をあげる、泣き叫ぶ
- 2) 自分の顔を叩く、手足に噛みつく、壁に頭を打ち付けるなどの自傷行為
- 3) 物を投げる、壁を蹴る、家具を倒す、ガラスを割るなどの破壊行動
- 4) 周りの人や家族を叩く、噛みつく、物を投げつける、暴言を言うなどの他害行為
- 5) 激しく動き回り、じっとできなくなる（多動）
- 6) 問いかけに反応せず、体も動かなくなるなど行動の停止や同じ動作の反復
- 7) 昼夜が逆転している
- 8) 食べられないものを口に入れたりするなどの食に関する行動
- 9) 便をこねたり、投げたりするなどの排尿排便行動
- 10) その他()

問 15 あなたの学校では、強度行動障害のある人の日常生活を支えるために、特別に配慮が必要な障害特性に対して何らかの「手立て」を行っていますか。

- 1) はい 2) いいえ

↓

(副問) 1) はいと答えた方におたずねします。

副問-1 具体的にどのような「手立て」を講じていますか。該当するものすべてに○をつけてください。

- ① 本人がこれから起きることの見通しが持てるよう、スケジュールやカレンダーで予定を示している。()
- ② スケジュールに変更が生じるときには、事前に個別に確認している。()
- ③ 本人に関することを決める際、本人が理解できる方法で本人に伝え、選択肢を示すなど意思確認している。()
- ④ 本人が自分の考えを相手に伝えられるよう、コミュニケーションカードや筆談などを用いている。()
- ⑤ 周りの人が本人に必要なことを伝えるため、コミュニケーションカードや筆談などを用いている。()
- ⑥ 着替え、食事、余暇、休息などの場所を区切り、何をするとどこか見てわかりやすくしている。()
- ⑦ 本人が日常生活動作を自立して行えるよう、手順表を作ったり、使うものを順番に並べたりしている。()
- ⑧ 物音や光などの苦手な刺激を避けるため、イヤーマフや特別なメガネなどを用いる工夫をしている。()
- ⑨ 本人が目標をもって活動に取り組めるよう、トークンシステムを取り入れている。()
- ⑩ 本人が疲れたり調子が悪い時に、一人で過ごせる場所(カームダウンエリア)を用意している。()
- ⑪ 身の回りの世話など日常生活の全般にわたり、性別や実年齢にあわせた対応や配慮をしている。()
- ⑫ 他の児童生徒との不用意な接触を避けるなど、動線が重ならない工夫をしている。
- ⑬ その他()

- 5) 専門職による定期的なコンサルテーションの実施
- 6) 医療や福祉などの複数関係機関と当事者家族をつなぐ連携の仕組み
- 7) 強度行動障害のある人に対応した個室の確保や整備
- 8) 強度行動障害のある人を支援するために必要な人員の増加と雇用の確保
- 9) 強度行動障害支援に関する人材育成研修

【最後に発達障害者支援に関するご意見・ご要望などがあれば、ご自由にお書きください】

以上で終わりです。長い時間、ご協力ありがとうございました。